

厚生文教常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和3年5月12日（水）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和3年5月12日（水）午前11時55分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
1 番 牛尾 直人君 4 番 永徳 省二君 5 番 大森 進次君
8 番 光成 良充君 12 番 原田 素代君 15 番 福木 京子君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
市民生活部長 杉原 洋二君 保健福祉部長 谷名菜穂子君
教育次長 有馬 唯常君 市民課長兼協働推進課長 稲生真由美君
環境課長 大窄 暢毅君 社会福祉課長 原田 光治君
子育て支援課長 馬場 弘祥君 健康増進課長 石原万輝子君
介護保険課長 寒竹 邦子君 教育総務課長 金島 正樹君
学校教育課長 家森 康彰君 社会教育課長兼スポーツ振興課長 西崎 雅彦君
中央学校給食センター所長 矢部 寿君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 元宗 昭二君 主 査 細川 伸也君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について
2) その他
・ 令和3年5月議会臨時会提出予定議案について
・ 令和3年6月議会定例会提出予定議案について
・ その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（光成良充君） 皆さん、おはようございます。

それでは、ただいまから厚生文教常任委員会を開会いたします。

まず、執行部の説明員につきまして、基本的には所管の部課長に出席をしていただき、三役、館長等には必要な場合にのみ出席を求めるということにしたいと思っておりますので、御了承をお願いいたします。

また、換気のため、委員会室の出入口と窓につきましては開けたまま進めさせていただきたいと思っておりますので、御協力をお願いいたします。

まず、新年度初めての委員会ですので、執行部と委員の自己紹介をお願いいたします。

まず初めに、執行部のほうからお願いいたします。

○市民生活部長（杉原洋二君） 市民生活部長、杉原です。よろしくをお願いいたします。

なお、この後の執行部の自己紹介につきましては部ごとで行わせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 市民課と協働推進課の課長をしております稲生と申します。よろしくお願ひします。

○環境課長（大窄暢毅君） 環境課長の大窄と申します。よろしくをお願いいたします。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 保健福祉部長を今年度からさせていただいております。どうぞよろしくお願ひします。

○社会福祉課長（原田光治君） 社会福祉課長の原田です。よろしくお願ひします。

○介護保険課長（寒竹邦子君） 介護保険課、寒竹です。よろしくお願ひします。

○子育て支援課長（馬場弘祥君） 子育て支援課長の馬場です。よろしくお願ひします。

○健康増進課長（石原万輝子君） 健康増進課長の石原です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○教育次長（有馬唯常君） 教育次長を務めております有馬でございます。昨年に引き続きまして、どうぞよろしくお願ひいたします。

○教育総務課長（金島正樹君） 教育総務課長の金島です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○学校教育課長（家森康彰君） 学校教育課長をさせていただきます家森です。よろしくお願ひいたします。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 社会教育課兼スポーツ振興課長をさせていただきます西崎です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君） 中央学校給食センターの矢部です。よろしくお願ひいたします。

○委員長（光成良充君） ありがとうございます。

では、続きまして、委員の自己紹介を、では牛尾委員のほうからお願いいたします。

○委員（牛尾直人君） おはようございます。新人の牛尾です。よろしくお願いいたします。

○委員（大森進次君） 大森です。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（光成良充君） 厚生文教常任委員会委員長を務めさせていただきます光成でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○副委員長（福木京子君） 副委員長の福木です。よろしくお願いいたします。

○委員（原田素代君） 原田です。よろしくお願いいたします。

○委員（永徳省二君） 今回からお世話になります、永徳省二でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（光成良充君） ありがとうございます。

全員終わりましたので、それではこれから協議事項に入っていきますが、通常ならば各部からの事業の進捗状況の説明、その他へと進めていきますが、本日、コロナワクチン対策とコロナワクチン接種等の対策対応のため、保健福祉部長と健康増進課長が退席をされるということなので、順番を入替えさせていただきます、保健福祉部の健康増進課に関連する事項を全て説明をいただきまして、その後、通常どおりに市民生活部から説明をいただきたいと思えます。

では、保健福祉部健康増進課関連の事業の進捗状況から説明をお願いいたします。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） それでは、緊急対応を現在させていただいている関係で、この後退席をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

そこで、健康増進課長から説明を全て健康増進課関係をさせていただきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） それでは、健康増進課のほうで先に進めさせていただきます。

まず、事業の進捗状況です。

(1) 新型コロナウイルスワクチン接種について。

保健福祉部の資料の2ページの次に、別紙1として資料を3枚つけております。この資料は、接種券に同封いたしました案内文書と厚生労働省からの説明書及び予診票をつけております。

高齢者向け新型コロナウイルスワクチン接種が5月17日から始まります。赤磐市では集団接種と個別接種を併用して実施いたしますが、まず市民の皆様に迅速に多人数接種できるように

集団接種を軸に実施いたします。65歳以上の方に接種券を発送し、10日からコールセンターで予約を受け付けましたが、既に集団接種の予約枠が定員に達した状況です。この状況に対して、赤磐医師会病院にさらに御協力をお願いいたしましたところ、病院での集団接種を実施していただけることになりました。今後、詳細が決まり次第、市民の皆様にお伝えし、安心を与えたいと思っております。また、このたびのコールセンターでの予約につきましては、なかなかつながらない状況が起きております。次の予約開始には、コールセンター、インターネットのほか、窓口での受付を開設して対応していきたいと考えております。個別接種の予約につきましては、市外の予約枠もありますので、引き続きコールセンターで受付を今もしているところです。議員の皆様には、市民の皆様からコールセンターがつかないという苦情や御相談を聞かれていることと思いますが、ワクチンは希望される全ての方が接種できるよう供給されますので、安心してお待ちいただきますようお願いいただければ大変ありがたいです。

また、桜が丘いきいき交流センターを集団接種の基幹施設会場といたしましたことで、高齢者の皆さんの移動手段を確保するため、無料バスを運行することとしました。山陽地域、熊山地域、吉井から赤坂地域の3ルート、1日2便運行予定を計画しております。

以上がワクチン接種の進捗状況です。

続きまして、その他の健康増進課の明日招集告示予定の令和3年5月議会臨時会提出予定議案について、(1)地方自治法第180条の規定による市長の専決処分の報告についてです。このことにつきましては、1月のこの委員会におきまして簡単な御報告をさせていただきましたが、このたび処分が決定いたしましたので、議会の議決を求めるものでございます。事件の概要は、昨年12月18日、訪問看護ステーションによる訪問看護中、ベッドから車椅子に移乗する際に起きました事故で、利用者様が右の脛骨腓骨近位部を骨折しました。損害賠償額21万1,459円が決定し、和解が成立いたしました。今後、このような事故が再発しないよう、特に意思疎通が困難な方への対応は、一つ一つの動作を十分確認しながら安全に看護の提供をまいります。

続きまして、(2)令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）について御説明いたします。

新生児子育て応援特別定額給付金を、昨年度に引き続き実施したいと考えております。コロナ禍の中、出産し、育児に取り組む子育て世帯を応援するために、子供1人につき10万円を給付するもので、2,855万8,000円をお願いするものです。

次に、第2次赤磐市健康増進計画中間報告書作成事業ですが、これは平成29年度に作成いたしました第2次赤磐市健康増進計画の中間の年になることから目標達成状況の分析を行い、計画の評価や見直しを行い今後の活動に反映させることを目的に実施したいと考え、424万6,000円の補正をお願いするものです。

次に、副反応患者受入れ医療機関委託料ですが、新型コロナウイルスワクチン接種に伴う重

篤な副反応が発生した場合に、医療機関の受入れ態勢を確保するための経費を計上するものです。320万円をお願いいたします。

以上、よろしくお願いいたします。

○委員長（光成良充君） ありがとうございます。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） それでは、その他のその他の案件で、レジユメのほうには記載してありませんが、熊山診療所のコロナ感染の関係について御報告させていただいてもよろしいでしょうか。

○委員長（光成良充君） はい、お願いします。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 熊山診療所の職員に4月2日に陽性者が出た件につきましては、皆様大変御心配をおかけしました。報道発表のとおり、職員全員にPCR検査を実施し、陰性を確認し、保健所からは衛生管理を徹底しており、休診まではしなくてもいいといったような御指導もいただきましたが、念には念を入れ、数日間休診し、市民の皆様安心して受診していただくような措置を取らせていただきました。熊山診療所では、日頃より感染予防対策には力を入れているところでありますが、さらにできる限りの対策を講じ、ささいなことでも上司への連絡、報告を厳重に徹底し、変異ウイルスにも立ち向かっていくよう努力いたしておりますので、安心して受診いただきますようよろしくお願いいたします。

また、報告といたしまして、赤磐市内の医療機関で働く関係者は、医師は4月中に、それ以外の職員も5月中旬には希望者の予防接種を完了するという報告も受けておりますので、併せて御報告させていただきたいと思えます。

以上です。

○委員長（光成良充君） ありがとうございます。

では、事業の進捗状況について何か委員のほうから質問がございますか。

原田委員。

○委員（原田素代君） ちょっと整理してしゃべるようにしますが、まず最初に御報告があった熊山診療所の職員の感染の様子の御報告をいただきました。部内で議論をされた結果だと思うんですが、この間いただいた厚生労働省のほうから出している感染対策に対するマニュアル本を読みますと、ここにありますように地域で身近な医療機関や受診相談センターへ連絡すること、また居宅介護支援事業者への報告をすることなど、要するに事業所内で完結するのではなくて、その事業所が近隣のそういう施設との連携がある以上、そういう施設に必ず伝えなきゃいけないことになっていますよね。今回問題になったのは、そういう施設から逆にそういううわさを聞いたけども実態はどうなんだろうかと、うちにおいでになったんでしょうかと、大変心配されています。とにかく、施設はクラスターが怖いんですよ。認知症の患者さんを抱

えているところは、もう一度起きたらどうしようもないです。今、岡山県は要するにもうベッドを受け入れてくれないですから、そういう緊張関係の中で今回の結果がそういうところまできちんと対応ができていなかったということについては、今後ぜひ十分に対策を取っていただきたいというふうに思うんですがいかがでしょうか。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） そのあたりも含めまして、徹底していきたいと思っております。ささいなことでも、上司への連絡、報告を徹底するということで指導をしておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） すみません、続けてさせてください。

まず1つ、最後に医療関係者は5月末までに全部ワクチンを打てるという話ですが、医療関係者というのは例えばこういう老健施設で働く看護師さん、看護師として仕事をされていらっしゃるわけですから、医療施設にいても、こういう人も対象だと考えていらっしゃるかどうかちょっとお尋ねします。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） この医療関係者は、医療機関です。だから、市内の診療所、病院、そういった医療機関というところでこのたびは対応しております。

以上です。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） これは今日の新聞なんですけど、山陽新聞に7月末までに完了18市町村と書いてあります。びっくりしました。赤磐市も7月末までの接種完了は可能と書いてあるんです。これはうそでしょう。というのが、まずその前に、ここに書いてありますけど、国も表明していますけど、高齢者施設を優先するというのが前提なんですよ。県内、いっぱいありますよね。20ぐらいありますよね。この高齢者施設の人から悲鳴のような声が上がりました。まず、医者の確保をしてくれない。それから、緊急事態の例えば酸素ボンベをはじめとして、アナフィラキシーをはじめ深刻な対応について、老健施設にはないわけです。そういう整備ができてない。これでやれと言われる。何かあったら誰が責任取ってくれるんですかと。これだったら市と老健施設の契約を結ばせてほしいと。何かあったときには市の責任だと。もしくは、それでなかったらいわゆる本来用意すべきもの、その対応ができるような資材、機材、そ

れを貸してほしいと。このためにわざわざ購入する余裕はない、施設は。そういう声で、とにかく本来優先されるのが65歳以上の一般の人が先にやってるじゃないかと。どうするんですかと、クラスター起きたら。怒られました。もう、がんがん言われました。その1つから言われたんですけど、恐らくそこだけがのけものになっているわけではなくて、皆さん危機感を感じていらっしゃる。そのことについてどういうふうに市は考えていらっしゃるんですか。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） 施設のほうは、施設と嘱託医等で接種時期については検討されて、それを市のほうに報告ということのシステムになっております。当然、市内の施設のほうがどうなっているかということは市のほうでもそういうことで把握をしているんですが、調整中であったり、もう実際実施された施設等ありまして、まだ決まっていないところもありますので、そのあたり市のほうで確認作業を進めているところです。先ほど委員おっしゃったように、アナフィラキシー等の重篤なアレルギー反応が出たときの心配等はお聞きしております、市で救急用品の貸出しみたいなことを今考えて、それを施設のほうへ情報提供をするということで準備を進めているところです。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） すごく重要な案件なので、もうちょっとしゃべらせてください。そのことについては、今のお答えは初めて聞いたんですよ、準備していると。それはもう、全ての施設が独自に嘱託医をはじめとして先生にお願いをしてセットで借りられる条件ができたというふうに理解したらいいんですか。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） 市のほうで確認している作業の中でそういうところで困っているという声をお聞きしましたのが最近のことです。今対応をそれでしている、準備をそろえているというところです。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 物すごく深刻なんです、施設としては。それで、なぜ5月7日の時点でそれに気づいたのかということですよ。5月7日の時点で市に言っても、市はそれはできないと断られたと。嘱託医も拒否しているんですよ。だって、自分の責任で打って、何かあったとき僕は医者として責任取れる環境にないのに打てないって。最後に泣きついて、とにかくそ

ういう環境を準備するように努力するから打ってくれと。その努力たるや、エネルギーをかけていらっしやる。そもそも、本来だったらそんなことを想定するわけじゃないですか。赤磐市はもともと集団接種だけじゃなくて、個別接種も上げてたわけでしょう。そうしたら、個別接種は想定できるじゃないですか、皆さん詳しいんだから。それはセットにしないと。ワクチンは届きますよ。だけど、打つ医者が足りない、看護師が足りない、環境整備が足りない。それを何で5月7日まで放っておいたんですか。それこそ私は今日確認したいのは、何月何日の時点でそのめどが立ちますという回答が得られるのか、いや、まだそこまで至ってないのか、それをお聞かせ願いたい。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） 最初に申しましたように、施設のほうは医療機関と嘱託医のほうでまず相談をもって市のほうに報告ということで、市が接種の日にちとかそれを想定する係ではないです。ですが、市内の施設ということで十分その辺の配慮はする。準備ができてるかというふうな確認作業は遅れたなあとは反省しております。先ほどの件についての施設は、さっきお伝えしましたように先週末にそういうことが起こっているということでその病院等にもお邪魔に行きまして、先生とのお話を進めて、こういう市のほうは対応ができますとお話をさせてもらったところです。今、集団接種でもその準備はそろえているので、その貸出し等は可能かと考えておりますので、施設のほうに早急に連絡をする作業を進めているところです。

以上です。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） はい。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 今の答弁に追加させていただきたいんですが、今、原田委員が御質問されたことは本当にごもっともで、ただ市のほうも気づかないこともありますので、本日のようにもうできるだけ早く、今の御質問だけではなくて様々なことが今混乱しているところも事実でございます。緊急対応として、できるところから今しております。それは後ろ向きじゃなくて、皆さんに少しでも安心を買っていただけるような前向きな方向で進めておりますので、そのあたりは御理解していただきたいと思っております。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） この接種を始める前から、高齢者施設に対しては優先してやらなければならない、それは御承知のはずなんです。それが、何で一般の65歳の人を受付をしながら何の準備もないまま、それも1週間前に苦情があつて気がついたと。じゃあ、これから段取り

をつけますと。そもそもおかしいじゃないですか。だったら、集団接種をやめて、全ての高齢者施設に先に貸し出してやっちゃう。済みました、だから遅れますけど、これで一般の高齢者を受けますと。そのぐらいのことをしないと、赤磐市、大変なことになると私は思ってるんです。その認識はないんですか。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） 何度も申しますが、施設の接種については、施設と嘱託医で初めに調整をして市のほうに報告というところから始まりますので、それと市のほうはそれ以外の市民の方の接種というところの準備を進めていたのが事実です。

○委員（原田素代君） 部長が御答弁なさったほうが良いと思うんですけど。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 初めに、新聞報道とかで発表しました4月から施設から始めるというような報道は、医療に隣接したような施設のみということで御指導を受けておりました。一般の施設は、高齢者と同じようにというようなことで御指導を受けているということで担当のほうからも話を聞いております。そういったことですが、実際、原田委員が言ってくださったように心配なところがございますので、もうできるだけ早く施設の関係は接種してこうということで、医師会の先生とかにも私たちが一生懸命そこは話をさせていただいたりして回ったりしておりますので、ただ課長が言うように施設に対しましては協力医の先生とか、そういった先生もいらっしゃいますので、その先生の御指示に沿って、一度にしてしまったらやはり熱が出て、そういった職員のほうも考えられたりしますので、順序よくやっていきたいというような御報告も受けております。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 要するに、まず原点で優先すべきことが優先されていないという現実の問題が一つ。それで、医療系があるのと医療系がないのととおっしゃるけど、あなたは分かっているじゃないですか、現場を、医療系がない施設が幾つあるか。盛んに課長さんは嘱託医と言うけど、だからさっき申し上げたように嘱託医が拒否しているんですから、僕やりませんって。だって、そうでなくても集団接種に借り出されているんですよ。その嘱託医は自分の医院を閉所しないとできないわけですよ、その施設に。じゃあ、その閉所したお金を賄ってくれますか。そういうことと、それからそういう環境整備がない中で、僕は医師としてできない。拒否されてきたわけですよ。そういうことを聞いていらっしゃるの。部長まで上がってないのは問題なんですよ、私としては。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） はい。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 今、市内の施設については、どの先生もしていただけると
いうふうに報告を聞いております。

以上です。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 昨日の電話です、私と話したのは。直接にも会いました、もう電話だ
けじゃ話せないから。とにかくやってください。急いでください。それで、老健施設を、要す
るに医療機関系じゃなくてもそういう環境整備と、それから嘱託医が安心して打てるように。
それから、嘱託医が病院を閉めたときの補償はどうなっているのか。そのことも含めて、きち
んと説明してあげていただきたいと思っています。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 少なくとも、市内にある施設に関しては、もうしっかりと
お話を聞いていながら接種のほうを進めていきたいと思います。おっしゃられたように、で
きるだけ早く施設の職員と施設の入所者の方には接種を進めたいと思っていますので、よろ
しくをお願いします。

○委員（原田素代君） すみません。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 例えば、インターネットの申込みの手續に非常にそごがあったり、赤
磐市の代表電話に電話したら分かりませんと言われて切られたり、いろいろあります。だけ
ど、もう1つだけ最後、これとても大事なこと、今言った無料バスの運行をされるようなこ
と、それから既に定員に達したということ、それから医師会が今後集団接種をしてくれるだ
ろうということ、こういう情報はどうやって伝えますか。私は提案したい。区長、自治会長、
民生委員、社会福祉委員、そういう地域のきめの細かい動きができる人に情報をまず出して、
その人たちが伝えてあげてほしいんです。私、今5人ぐらいぶら下がってんです、どうしたら
いいか教えてくれて人。結局、赤坂支所に行ったって、赤坂支所、うち分かりませんなん
ですよ。山陽まで来れないんですよ、赤坂の人はバスが。そうなると、赤坂の民生委員さんや区
長さんやそういう人が、いや、もう既に埋まっていると。今度はいつからあるか。それから、
バスが出るよ。そういう細かい情報は広報で見きれません。私たち、皆さんもそうだと思う
けど、そういう問合せを受けて初めて私たちが答える。それはいいんですよ、一生懸命やります
けど、制度としては市はコールセンターに電話してくれて、こんな無責任な丸投げはやめて
ほしい。だから、窓口受付もしてくださる、これは大きな進歩だと思うんです。だけど、そう

いう情報をどうこれから出すのか。今出しているのはここまでの情報なんです。だから、これ以降の情報というのは広報とおっしゃったけど、絶対広報なんかじゃ届かない。臨戦態勢でしょ。もうこれから私もこれ以上言わないけど、出ていかれて仕事に入っていただくのはいいんですけど、最後にその情報を届けるための一番確実な方法としてはその提案をさせていただきたいと思うんですがどうでしょうか。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） ありがとうございます。できるだけそういった形で進めていきたいというふうに我々も思っておりますが、まだ確実でないところをはっきり言えないところもありますので、そこはもう確定次第、皆さんに何らかの形でできるだけスムーズな形で放送等も活用しながら進めていきたいと思っております。市のほうも、広報ということになりましたら月に1回しかないのでタイミングも遅れますので、その辺は委員の皆様にも御協力していただきながら、できるだけ早く放送等の機能を使いましてやっていきたいと思っております。また、議会関係にはいろいろとファクス等で流させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 放送塔は無理。みんな補聴器つけてんですよ、私のところに来る方は。字が小さいから質問票も書けないんですよ。そういうことを想定してくださいよ。だから、区長さんや民生委員さんにちゃんと書面で伝えて説明会をして、できるだけ分かんないという人は民生委員に聞いてくださいと言えばそこで話が終わるようにしたいと。放送塔は無理です。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） 今日申しました情報は、今部長が言いましたように確定してから情報提供になりますが、それまでに民生委員さん、それから介護保険の関係の介護支援専門員の方には、今、市のほうは高齢者にこういう情報を郵送しておりますので、地域のほうで相談等がありましたら御協力をお願いしますという情報の文書は出させてもらっておりますので、付け加えさせてもらいます。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） それは今の情報でしょ。だから、これから新しくなる情報を、要するに放送塔で流して済ませないでくださいということを申し上げています。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） それは放送塔も活用するということでございます。原田委員のおっしゃったように、特に民生委員さん、それからケアマネジャーさん、そういった方には迅速に今までどおり確実に決まったことに関してはお知らせをするような仕組みもつくっておりますので、よろしく申し上げます。

○委員（原田素代君） すみません、これ以上言ったらご迷惑をかけますので。

○委員長（光成良充君） 他に質問がある方。

永徳委員。

○委員（永徳省二君） 基本的なことを教えてください。私のところにも複数の人から、昨日の1時半の時点で集団接種がもう締め切られたということでクレームの電話がうちに入っているんです。要は、今回、まず何人分受け付けされたのかを教えてください。たしか対象が1万5,353人と聞いているんですけど、うち何人分の受付をされたのか教えてください。比較的小問合せの人を聞いていると、インターネットの人はほとんどが予約できているような雰囲気があります。電話の人が比較的にできてない。何人分受け付けて、インターネットが大体何割、電話が何割受け付けたのかを教えてください。

それから、その昨日の電話のときに、もう受付は締め切っているので、今度は6月1日から受け付けるというふうに言われたと聞いています。その接種が8月からというふうに聞いているんですけども、まず6月から今度は何人分受け付けするのか教えてください。先ほども新聞にありましたように7月中に完了するという事なんですが、電話では8月から接種というふうに言っています。どちらが本当なのか教えてください。たしかこの予定では、7月までの予定も既に入っていますよね。これは恐らく今回の分じゃないかなと思うんですけども、8月以降になるんならどういう予定なのか、新聞の記事はどうなのかというところも教えてください。

それから、集団は締め切ったけれども、各病院でする個別接種、これはまだ受け付けているのか受け付けてないのか教えてください。これから電話しても受け付けられるのかをぜひ教えてください。

それから、無料運行バスを運用するという事なんですけれども、地区には受付はしたけれども、もうほとんど車じゃないと行けない方がたくさん高齢者の方、いらっしゃいます。運行がどういう運行ルートになるのかを、ぜひ後で結構ですので資料をください。

それから、先ほどありましたけど、医師会病院で今後やるということなんですけど、医師会病院での接種の日程とか、分かる範囲で教えてください。

以上です。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） たくさんあったので、また足りなかったら教えてください。

まず、コールセンター、5月10日から受付をしました。その実績ですが、10日には集団接種が4,715人、個別接種を受け付けたのが213人で計4,928人ですが、この個別接種については県のシステムに入りますので、赤磐市の市民でも例えば岡山市の医療機関で受ける場合があります。逆の場合も、岡山市民さんが赤磐市の医療機関をとということがあるので、確実な赤磐市民の数ではないかもしれません。そこらあたりはちょっと統計が無理なので、御承知ください。赤磐市民がどれだけとかというのがその全県のシステムに入ってしまうので、ちょっと難しいんです。すみません。

それと、今日が3日目なので、11日、昨日の実績ですが、先ほど説明させてもらったように集団接種がもういっぱいになりましたので、個別接種を受け付けているというところですので、その実績はまだ分かっておりません。

それから、運行バスについては、今日この委員会で初めてお伝えさせてもらって、資料のほうはまだ作成できていないんです。確実なことができたら、これも市民の皆様にお伝えできるように情報提供をしていく予定ですが、桜が丘のいきいき交流センターの集団実施日に1日2便運行予定です。それについては3ルートを用意しております。山陽地域のほうが高月公民館発、弥生公園、市役所、西山公民館経由の便、熊山地域は熊山支所から直行便、吉井、赤坂地域は吉井支所発で仁美農村振興センター、赤坂健康管理センターから桜が丘いきいき交流センターへ向かう便の3ルートを今のところ思っております。

医師会病院は、もう今の流行している現状で、一刻も早く市民の希望する皆さんに接種できるように協力をするよとおっしゃってくださっております、日程調整を今まに行っていますので、それも出ましたら早急に広報等で皆さんに情報提供をしていきます。それから、コールセンターでの個別の受付は、今も当然しております。それと、すみません、またありましたらよろしく願います。

○委員長（光成良充君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 6月から、まず何人分を受付するのか、それが8月からの接種になるのかどうか、もう一度確認です。

それから、合計4,927人受け付けした電話とインターネットの比率、大体どれぐらいになるのか教えてください。ぐらいですね。願います。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） すみません、インターネットの比率は分かっておりません。

それから、6月1日の受付……。

○委員（永徳省二君） 6月1日から受け付けするんですよね。

○健康増進課長（石原万輝子君） 次ですね。すみません。これについては一番最初に皆さんの資料にもつけておりましたが、今後の日程は広報でお知らせということで、1か月先、今、7月までの予定をお示ししておりますので、次のは8月の予定枠を載せていくつもりですが、それにプラス今、赤磐医師会病院での調整ができておりますので、その日程も掲載できると思います。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 今、永徳委員が御質問された件につきまして、これからもうちょっと詳細を煮詰める作業に私と課長のほうで入っていきたいというふうに思っておりますので、まさに医師会病院の関係はもう最中のところです。そういったところで、しっかりと集団接種会場を増やすというような方向で医師会病院さんのほうも協力的に動いていただいておりますので、市民の皆さんに少しでも御迷惑をかけないような形で、その調整ができましたら早急に、先ほど御質問していただいたように民生委員さんや、6月1日からとも言わずもう早く早急に集団接種会場等の受付なども開始したいというふうに思っておりますので、そのあたり御了承いただけたらと思います。

○委員（永徳省二君） いいですか。

○委員長（光成良充君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 今の話を総合すると、大体4,900人、7月末までに受けられますよと。対象1万5,000人ですから、あと一万人の方が7月末まで受けられないという状況ですよと。ということは、山陽新聞に書いてあった7月末までに完了するというのは間違いなんですね。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 間違いではございませんで、算定しております。施設関係者の方、従業員の方や医療従事者の方でも65歳以上の方、そういった方も全て取り除いたら、今、約1万4,000から1万5,000人程度の住民基本台帳に載っている高齢者の方がいらっしゃいますので、そういった方を算定しましたら集団接種会場は5,000程度で大丈夫かなということでは初めは算定しておりました。しかしながら、集団接種会場、それから個別接種会場がまだ様子を見ながら進めていきたいという先生も中にはいらっしゃいますので、思ったほど市内の個別接種というところが予測よりも現在できる数が少ないです。それについては、もう今一生懸命医師会病院とかそういったところも通じまして体制を整えてまいっているところがございますので、7月末までにはもう完了するように職員総動員で今頑張っておりますので、御理解い

ただけたらと思います。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） お二人が聞かれたと思うんですからもう大体分かるんですけど、そもそも65歳以上の高齢の人に急いでインターネットで予約せえというやり方自体は、本当に大間違いだと思いますよ。これまでの健診方法、そういうふうな各地域ごとです、高齢の人が安心して受けられるような施策をしないと、こんなむちゃなことはひど過ぎますよ。本当に、初日なんかは高齢の人は電話の前にずっとついておったと。もう本当に大変なことで、電話されたりインターネットをされているんですよ。高齢の人はインターネットなんかはなかなかできないですよ。だから、このやり方、本当にひどいなあと。それを言っておきたいのと、それから、無料バスは出されるんですが、会場の設定で、山陽地域はもういきいき交流センター全部なんですよ。せめて、いろんな対策はされるんだけど、やっぱり近くで、山陽団地でどこかされる日を設けるなり、そうすれば歩いて行けるんですよ、そういう人が。それから、保健センターとか、そういうふうな考えはないんですか。とにかく、情報はもう原田委員が言われたとおりです。きめ細かい情報をいち早くみんなに知らせていただく、これが一番だと思います。そして、少々時間はゆったりしても予約してできるというふうな安心感、これも絶対大切です。そういうことで、どんなんでしょうか、その会場。

それからもう1つ、すみません、今、集団で大体5,000、あと一万ぐらいなところを医師会とか個別接種でこれからやっていくというふうなことを言われとんですが、岡山市に病院関係されている方が何割かはそちらでされるんでしょうけど、その見通しをもう少し詳しくお願いしたいと思います、個別接種の。例えば、診療所は2つ、受けれますよね。それからあと、近くの先生である病院はいいよというふうなうわさを皆聞いてそこへ予約されるとか、でもあの病院はしてくれないと、こんなうわさが広がってるんですよ。だけど、こういうところではできるというふうな何らかの情報がないと予約できないんですよ。そのあたりはどうでしょうか。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） 先ほどから申しております医師会病院のほうの日にち等が確定したら、山陽地域の方は地域によっては桜が丘いきいき交流センターよりも行きやすくなるかなと考えております。

○委員（原田素代君） 山陽の人だけじゃないだろ赤磐市民は、どういうことよ。

○健康増進課長（石原万輝子君） すみません、先ほど山陽団地の方がという委員の御意見があったかと思しますので、そのことを申し上げました。

○副委員長（福木京子君） いいですか。

○委員長（光成良充君） 福木委員。

○副委員長（福木京子君） 例えば、その山陽団地なんかは相当の集団的な、人数的にはいるでしょう。健診もこれまでやってきたんですが、最近は健診が保健センターに行きましたけどね、これも批判がありますが。だから、山陽の従来地域だったら中心の保健センターとか、やっぱり大体考えられるでしょう。そういうふうなところは会場設定というのはもうないんですか。あくまでも、もう無料バスに乗って行ってくださいということなんですか。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） 非常に細かいところなんですけど、医療従事者の方も今必死です。感染を自分たちが浴びると言いますか、いろんな方が受診してこられるので、医療従事者の方の感染対策というのはもう必死の状態です。私たちはそれを目の前でまざまざと見ております。そういった中で、医療関係者の方からできるだけ集団接種も感染対策を徹底してやってほしいと、施設関係が点々とするのはできるだけ避けてほしいというようなニーズも非常に高かったのも事実でございます。私たちも、接種会場につきましては今までどおりできるだけ皆さんの近くの健診会場、公民館等を利用しながらやっていきたいというふうに最初は計画をしていたんですが、もう様々なことを想定しておりまして、そのあたりのことも考えながら今回はいきいき交流センターを中心にというふうなことで、支所等の公民館も精いっぱい努力でそこをお願いしたというような形のところも正直でございます。そういったところで、吉井のあたりは、診療所の先生ができるだけ個別接種でたくさん対応するからということで一生懸命いろんな思案をしてくださっているのが現状です。そういった中で進めておりますので、どうぞ皆さん御理解をいただけたらと思いますので、よろしく申し上げます。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

他にございませんか。

○委員（永徳省二君） はい。

○委員長（光成良充君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） どこかの市で、市内にある大企業の社長とか役員の方が優先して接種を予約したというふうな事例があって副市長が謝っておられましたけど、赤磐市でそういうことがないというふうに断言してください。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） すみません、もう一度ちょっとお願いしてよろしいでしょうか。

○委員（永徳省二君） どこかの市か忘れましたが、副市長が市内にある大企業の役員、社

長とかに便宜を図って接種の予約を優先的に入れたということで副市長がごめんなさいと謝っておられました、テレビで。そういうことが赤磐市ではないというふうに、ぜひ断言していただきたいなというふうに思います。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） はい。

○委員長（光成良充君） 谷名部長。

○保健福祉部長（谷名菜穂子君） もうそういったことは一切ございませんので、よろしくお願ひします。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

○委員（大森進次君） はい。

○委員長（光成良充君） 大森委員。

○委員（大森進次君） コールセンターで前、予防接種のあれをしたと思うんですけども、問題点としてどのくらいあったのか、それで解消は全部できているのか、そこら辺をちょっとお聞かせください。

以上です。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○健康増進課長（石原万輝子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 石原課長。

○健康増進課長（石原万輝子君） 今、委員おっしゃられたのはコールセンターでの質問の対応でしょうか。

○委員（大森進次君） この前、予行演習やったじゃないですか。そのときに問題点がいくらあって、それが解消できていますか。

○健康増進課長（石原万輝子君） 予行演習では100人ぐらいの市民の方も来ていただき、実施いたしました。当日を想定して行いました。これからお世話になる医療従事者の方もかなり大勢来ていただきまして、ちょっと会場が密になったという反省があって、風通し、換気を特に気をつけたいなというところの反省がとても大きかったです。あと、個々についてはそれぞれの係のほうスムーズに対応できるように、もう少し細かくここをこうしようとかという反省は十分いたしまして、第2回目の予行演習については市民の方は来ていただかず、スタッフだけで実際の会場設営を行って細かな打合せをして19日の初日を迎えるつもりです。

以上です。

○委員長（光成良充君） よろしいか。

○委員（大森進次君） はい。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） では、ないようですので、保健福祉部の健康増進課関連の件について

ではこれで終わりたいと思います。

ここで、11時5分まで休憩いたします。

午前10時53分 休憩

午前11時5分 再開

○委員長（光成良充君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、事業の進捗状況について市民生活部のほうからお願いいたします。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 杉原部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） それでは、市民生活部市民課、協働推進課、環境課より事業の進捗状況について担当課長より説明を行います。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 稲生課長。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） それでは、市民生活部資料1ページをお開きください。

協働推進課より、事業の進捗状況について3件御説明いたします。

最初に、(1)令和3年度の主な事業につきまして説明させていただきます。

資料の1番目でございますが、人権の花の贈呈式でございます。4月26日、山陽東小学校で実施をいたしました。小学生を対象といたしました人権の花運動でございまして、花の種、プランターを小学校に配りまして、児童が協力して花を育てることにより命の大切さや協力することを学び、思いやりの心を育てることを目的としているものでございます。

次に、7番目の人権を考えるつどいについてでございます。

今年度は12月12日曜日に中央公民館大集会室で、12月4日から12月10日の人権週間に合わせまして開催を予定いたしております。講師には、数学者のピーター・フランクルさんを予定しております。詳細につきましては、これから調整していく予定でございます。これらの事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況をうかがいながら実施の判断を行ってまいります。現在は案としておりますので、よろしくをお願いいたします。

続きまして、2ページをお開きください。

(2)第4次赤磐市男女共同参画基本計画の策定について御説明させていただきます。

男女共同参画社会基本法及び赤磐市男女共同参画推進条例に策定が規定されております赤磐市の男女共同参画基本計画の第3次計画が、平成29年度から今年度までの計画となっております。今年度中に策定する計画は、来年度から5年間の計画になります。本計画策定に当たりまして、昨年度、アンケート調査を行いました。市民アンケートは2,000人を抽出し、回答は692人、回答率は34.6%、事業所アンケートは124件抽出し、回答は50件、回答率40.3%でございました。これらの結果を踏まえて、今年度開催予定の赤磐市男女共同参画推進審議会に諮り

ながら計画を策定していく予定でございます。スケジュールは、アンケートの分析を6月中に行い、7月から10月に計画素案を作成し、11月にパブリックコメントを実施した後、3月初めまでには計画策定を終える予定としております。事業費の予算ですが、計画策定委託料といたしまして268万円を計上しております。

最後に、(3)第1回赤磐市男女共同参画セミナーについて説明します。

5ページの次にありますチラシを御覧ください。

6月22日火曜日13時45分から15時までの予定で、中央公民館視聴覚室におきまして、「感染症からいのちと尊厳を守るために～正しく知って、正しく恐れよう!～」と題しまして、日本赤十字社岡山県支部の村上礼子様に来ていただきまして、新型コロナウイルス感染症は病気そのものに加え、人の心にも大きな影響を及ぼすため、自分のため、みんなのため、そして大切な人のため、自分たちができることを考えてもらえるような内容で開催いたします。参加につきましては、事前に申込みをいただきまして、定員に達し次第締切りとさせていただきます。委員の皆様のお参加もお待ちしておりますが、このセミナーについてもコロナの感染状況によりまして実施の判断はさせていただきますので、よろしく願いいたします。

協働推進課からは以上でございます。

○環境課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 大窄課長。

○環境課長（大窄暢毅君） それでは続きまして、環境課から本日お手元に委員会資料のレジユメの別添としてお配りさせていただいております赤磐市一般廃棄物処理基本計画（概要版）と書かせていただいておりますこちらのほうをお願いいたします。

本計画につきましては、国の策定指針に基づきまして5年ごとの見直しということで、昨年度、パブリックコメントの実施及び廃棄物減量等推進審議会での審議を経まして3月に策定をしたところでございます。市民、事業者、行政で考え実行する持続可能な都市の形成を基本理念としまして、ごみの排出抑制、ごみの適正な処理、処分、より一層の市民協働の推進の3つの柱を基本方針に掲げました。この基本方針にのっとりまして、長期的な視点をベースにししながら、短期及び中期の目標も掲げまして具体的な施策に取組み、計画をより実効性のあるものにするよう進めてまいりたいと考えております。

なお、赤磐市ホームページにもこの概要版、それから個別の詳細内容を示しております本編のほうもデータでアップをしております。市民の方々や市内の廃棄物排出事業者への啓発等に併せまして市も一体となり、さらなるリサイクルの推進などに努めてまいりたいと考えております。委員の皆様にも御理解、御協力及び御指導等を今後もよろしく願いいたしたいと思っております。

環境課からは以上でございます。

○委員長（光成良充君） 市民生活部の事業の進捗状況について、ここまで何か御質問はござ

いますか。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 男女共同参画ネットワークの企画、大変いいと思うんですけど、ここに抗原検査無料です、どうぞ御利用くださいというのを入れたらどうでしょう。というのは、抗原検査は割と、たしか30分ぐらいで出てくる。それから、今、熊山でやっているようですが、これは条件が限定されているというふうに聞いています。何か事情があってしておかなきゃいけないという人に無料でやっていると聞いていますけど、赤磐市も本気で考えるんなら事前の感染の検査をどんどん無料でしていかないと、特にクラスターを想定する場合は、さっき言った老健施設なんかの職員は全員月1回はやるぐらいのことをしないと、出てしまったときどうするんですかという話で、絶対死亡者出ますよ。だって、もう90代のストレッチャーに乗って移動しなきゃいけないような人たちがいる施設ですもん。そこで出たらどうしますかということですよ。これは本当に思いつきなので、すぐにできないのは承知しているんです。ただ、例えばこういう企画でやるときに、非常に魅力ですよ、市民は。だって、2万円から3万円かかるんですもん、民間で受けようと思うと。だけど、それはコロナウイルスのあれですけどね。だから、抗原検査だけでも、ぜひこういうところで安心をして受講してくださいとかね。何かそういう企画で少し力を入れてみるというのは1つの提案です。御検討いただければと思います。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 杉原部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） 本件だけの問題ではなく、市全体のイベントの中でそのあたりの可能性等、研究をしていくものと考えております。

以上です。

○委員長（光成良充君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） ついでに、広島県は相当県民に対して検査をやっているんですよ。それで、駅を利用する人に無料検査する。それから、山口県が高校生の部活が割と活発なから高校生にするとか、そういうふうに各県それぞれいろいろ考えてこれ以上広げないような施策もしているようなので、赤磐市のほうもぜひその辺はお願いしたいなど。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 杉原部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） 各県それぞれに、それを支えるバックの状況があらうかと思えます。赤磐市、岡山県にそれが必ずしも一致するものではないものもあらうかと思えます。他市の事例等を参考にしながら、研究を深めていきたいと考えます。

以上です。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

○副委員長（福木京子君） はい。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

○委員（原田素代君） すみません、環境課のほうのこのダイジェスト版。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 5か年計画の新たな分ですけど、ずっと課題になっている最終処分場の整備の問題で、皆さんお持ちの資料の5ページの方針3のところを見ていただきたいんですけど、方針3、囲みの3つ目、下から2行目、なお検討に対しては地権者や地元住民等の意見を踏まえながら周辺環境に配慮し適正な整備計画の策定に取り組んでいきます、と書いてあるんです。この事業はもう丸5年以上手がついてません。ここでは適正な整備計画の策定ということですから、今後、適正な整備計画、例えば具体的にいついつまでに住民説明をして、いついつまでにこういう施設をつくって、いついつまでにオープンしますということを目指しているんだと思うんですが、それでよろしいんですか。それから、具体的にいつから検討に入って、いつ頃をめどにこの整備計画ができるのか。その2つを教えてください。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○環境課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 大窄課長。

○環境課長（大窄暢毅君） この方針3の最後の部分に関しての御質問でございます。

こちらにつきましては、まだ整備計画、細かい詳細な実施計画等々はこれから詰めていくところでございます。地域の方のいろいろお話を聞いたことも、当委員会でも御報告させていただきました。そういう御意見をいただきながら今後詰めていくところがございますので、方向性としましてはきちんと安全な周辺環境に配慮した適正な整備を進める、その計画の策定に取り組んでいくというようなことで考えております。

以上です。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） その御答弁はもう何度も聞いているんです。住民の合意をいただいて安全につくりたい。そういうんじゃないんです。私があえて聞いたのは、ここにはっきり書いてありますね。適正な整備計画の策定に取り組みますと書いてあるんですよ。もうその段階は過ぎてますよ、5年も6年も放置してたんだから。要するに、もう既に行政の事業というのはPDCAでしょ。プランができないとこの事業はまた5年間このまま塩漬けですかということですよ。ここで新たに整備計画の策定に取り組むと書いてあるのであれば、具体的な整備計画をいつまでにつくっていかれるのか。それがなくてこんなこと書くんですか、書いてみただけでことですかということを知っているんです。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○環境課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 大窄課長。

○環境課長（大窄暢毅君） 委員には審議会で御審議もいただいた中で、その御意見もいただいております。いつまでにとというのは、市としては早急に整備したいという計画の下に進めておりますが、あくまでも周辺地域、計画をしている地域の方々の御意見とか御要望とかもお伺いしながら、それからそれを踏まえた上で、先ほども言いましたように周辺環境に配慮した安全な施設を整備していくというようなことを計画を策定していく中で進めていくということで考えておりますので、いつというまでのことは申し上げられませんが進めていきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 申し上げようがないのでこれ以上言いませんけど、ただ計画書というのは大事なことですよ、行政にとって。この計画に沿って事業が進まなきゃいけないんですから。そこに整備計画の策定に取り組むと書いた以上、取り組まなきゃいけないんですよ。それを課長は住民の意向でとおっしゃる。それはもう5年間聞き飽きました、住民の皆さんの意向がないからできないということであれば、ここに書かないほうがいいんじゃないですか、嫌みを言いますけど。引き続き、住民の御意見に配慮して考えていきますにしたほうがいいんじゃないですか。つくる気ないんでしょうという意見です。もう御回答要りません。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） ないようですので、市民生活部の事業の進捗状況についてはこれで終わります。

続いて、教育委員会のほうから事業の進捗状況についてお願いいたします。

○教育次長（有馬唯常君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 有馬次長。

○教育次長（有馬唯常君） 教育委員会の関係いたします事業の進捗状況につきまして、それぞれ所属長より御報告させていただきます。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） それでは、教育委員会資料1ページを御覧ください。

1、事業の進捗状況につきまして御説明をさせていただきます。

まず、(1)といたしまして、聖火リレー及びホストタウン啓発活動について御説明いたしま

す。

まず、聖火リレーについてでございますが、来週の20日に実施予定としておりましたが、資料のほうも準備させていただいておりましたが、現在の新型コロナウイルス感染状況の拡大により、県、実行委員会から岡山県内全域の公道での聖火リレーは中止するとの連絡を受けております。今後の予定につきましては、現在、県と組織委員会との調整により今後決定される予定でございます。

続きまして、2ページを御覧ください。

ホストタウンキャンプ誘致実行委員会の主な活動状況を御説明させていただきます。

令和2年度の活動状況につきましては、オリンピックの延期に伴い、ニュージーランドへの応援動画メッセージや横断幕、懸垂幕等の設置、Tシャツ等、啓発物品販売など啓発活動を実施しております。令和3年度の活動につきましては、ニュージーランド代表の直前キャンプに向け、啓発活動や直前キャンプ活動、交流活動など、4月28日開催のキャンプ誘致実行委員会にて御協議いただいております活動内容でございます。

以上でございますが、現在の感染状況により、オリンピックに関しましても開催方法の変更や中止の可能性がございます。引き続き、岡山県やオリンピック組織委員会の動向を注視しながら対応をまいりたいと考えております。

以上でスポーツ振興課からの説明を終わります。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 矢部センター長。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君） 学校給食センターから学校給食への異物混入について報告いたします。

資料3ページを御覧ください。

まず、発生日ですが、令和3年4月16日金曜日。発生した学校は山陽北小学校。混入しておりました献立につきましては、豚キムチ丼。それから、混入していたものについては約1.5センチの金属繊維。こちらのほうは、材質からスチールたわし、金だわし用のものと考えております。それから、混入経路につきましては、職員が調理場内を即日調査いたしまして、また業者により厨房機器の点検を行いました。それから、食材についても納入業者に納入過程での異物混入の検証を求めましたが、いずれも混入経路は不明でありました。今後の対策としては、食材の洗浄、調理、配缶の際に、異物の確認、異物の有無をより慎重に確認することを徹底するとしております。特に、調理前にはこれまでよりも時間をかけて点検を行うこととしております。

教育委員会については以上です。

○委員長（光成良充君） 教育委員会の事業の進捗状況についての説明が終わりました。

ここまでで何か御質問がございますか。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） いわゆるホッケー場絡みのことなのですが、4億3,000万円かけた熊山のホッケー場が、大きな目的が当初は東京オリンピックだったわけですよね。既に、聖火もこういう形で非常に厳しい中、万が一やるにしても、オリンピックを、直前キャンプはまず無理だろうと言われていていますよね。地方に移動して、そこからまた東京に移動するということはまず無理だから、もう今の段階で直前キャンプは判断できると思うんです。そのことと、それから今後、あのホッケー場がどういうふうにご利用されるのかということのを非常に心配しているんです。とにかく、かけるだけかけて今後どれだけ利用できるのか。場合によっては、もっと別の形で利用が、さらにホッケーに限らない方法で多くの方が楽しんでいただける運動場にならないのか。そういうことも含めて、このホッケー場の今回のオリンピック絡み、事前キャンプの問題と、それから今後、このホッケー場をどういうふうにご利用するかという議論はされていらっしゃるのかどうかをお尋ねしたいと思います。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） ありがとうございます。

まず、事前キャンプにつきましては委員おっしゃられるとおり厳しい状況でございますが、感染対策を講じて直前まで実施に向けての準備を進めております。

それから、オリンピック後の活用等につきましても、ホッケー場としましては全日本の選手権大会等も過去3年連続で実施しておりますし、今後もそういった利用について積極的に呼びかけをしてまいりたいと思います。そして、まずこの運動公園の名称でございますが、多目的広場ということでございますので、ホッケー以外にもフットサルですとか多目的な活用も考えておりますので。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 以前聞いたのは、芝が特殊な設定で、サッカーもアンダー11、要するに11歳以下の人のスパイクじゃないと耐えられないと。要するに、ジュニアのそれもアンダー11ぐらいじゃないとあの芝を傷めるから使えないんだと聞いているんですよ。だから、その辺の制約、あの施設が有効にどれだけ使えるのかということでお聞きしたかったんですけど、もうちょっと説明してください、ホッケー以外で考えていらっしゃるものがあれば。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） ホッケー以外の活用としましては、委員

おっしゃられるとおりにフットサルでも制限がかかろうかと思います。それから、例えばそのほかの競技としましてはドッジボールですとか、そういった子供が中心となる活動に限られようと思いますが、多目的な活用を考えております。

以上です。

○委員（原田素代君） 分かりました。また、教えてください。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） この金たわしの件ですけど、学校給食センター、ちょっと二、三回続きましたよね、異物混入が。それで、例えば金たわしって特定ができたんなら、要するに金たわしを使わないようにすればいいだけの話でしょ。でも、経路は不明になってんですよね。いや、私最初、ホッチキスかと思ったんですよ、新聞報道で見たとき。ホッチキスだったら、作業工程を変えて、そういうものは全部よそでやって、それで中に入れてやるとか、そういう簡単に整理ができますけど、金たわしだったら金たわしを使わないでほかの方法で、要するに洗浄するとか。だって、そういうことが書いてないので不安ですよ、混入経路不明じゃあ。職員の方が一番不安だと思うんですよ。入れてやろうと思って入れてないだけに、出てからたたかれるんじゃないかかわいそうだから。環境整備という面で、もうちょっと具体的な外からの目でいゆる安全対策ができるような、リスクマネジメントができるような配慮が、例えば誰か入れて教えてもらうとか、そのぐらいのことをしたほうがいいんじゃないかと思うんですけど、どうですか。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 矢部センター長。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君） 金たわしにつきましては、いわゆるスチールたわしですね。東学校給食センターはもとよりなんですけれど、赤磐市の学校給食センターでは使っておりません。ほかの食品加工業者等も、1件ずつはあれなんですけど、大多数のところはこういう事故が起こりがちなので今はもう使っていないところがほとんどです。今回につきましても、どちらの業者も使っていないということもありまして、ここでは混入経路不明というふうに書かせてもらっていただいております。

以上です。

○委員（原田素代君） 一生懸命探してください。

○委員長（光成良充君） 他にありますか。

福木委員。

○副委員長（福木京子君） オリンピックの聖火リレーは、県がもう全市町村中止というふうな方向を出したからほとんどそれで決まると思うんですけど。あと、このオリンピックをどう

するかということは国会で相当議論はされるんですが、私たちももうこれは直ちに中止をして、今の状況の中ではできる見通しはないと。ちょっとここで言うときですが、1つはワクチンがもう間に合わないということなんですよ、もう今の状況の中では。ちょっと簡単に言います。2つ目は、海外、よそもなっているわけですから、フェアな大会にはこのオリンピックはならんということなんです。それから、3つ目は、医療従事者を東京の五輪のために医療現場から引き離して集めにやいけんわけですよ。それで、看護師さんを500人、スポーツドクター200人、30の指定病院に協力を求める。こういうようなことができるわけがないんですよ、今の状況の中で。だから、直ちに中止をとということを主張しているんですが、そのことを言うとともに、赤磐市はこのホストタウンを予算をつけて、まだやろうとしているんですが、これも本当にいろいろ大変だと思います。もし、ぎりぎりまで検討するとしても、受けるということは本当に大変な市の負担。県が窓口なんですが、実質するということならもう市が手配をせないけんわけですよ。だから、事前合宿の受入れとか、それから、感染防止対策を徹底して取るとか、それから、毎日検査をしないといけんとか、それから市と交流は非常に目的がもう達せられない、市と交流が難しい。それから、特別扱いというのはもう絶対選手だけするというのは難しい。それから、市の負担が相当増えると。そういう条件がある中で、やはりこれはできないんじゃないか、受けるのはもう早くやめて、下からそういう声を上げていくということが大切なんじゃないかなあというふうに私は思っておりますので、その意見を言うておきたいと思いますがどうでしょうか。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） ニュージーランドの代表チームのキャンプにつきましては協定を結んでおります。そちらに基づいて、我々としましては実施に向けての準備を進めていくということで今のところ進めております。国からも、ホストタウン等における選手の受入れマニュアルということで指針も示されておりますので、そちらの指針ののっとり対策を講じながら準備を進めているところでございます。今後も引き続き、国や県の動向を注視しながら対応してまいりたいと考えております。

以上です。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

○副委員長（福木京子君） はい。

○委員長（光成良充君） 他にございますか。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） なければ、これで教育委員会の事業の進捗状況についての質疑を終わります。

続いて、2番目のその他に入っていきます。

では、その他について、順次、市民生活部のほうからお願いいたします。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 杉原部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） その他につきまして、環境課、協働推進課のほうからございますので、担当課長より説明をさせていただきます。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 稲生課長。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） それでは、令和3年6月議会定例会提出予定議案について説明させていただきます。

市民生活部資料3ページをお開きください。

まず、市民課から御説明します。

一般会計補正予算でございまして、コンビニ交付システムの改修や戸籍法、デジタル手続法の改正によるシステム改修費を297万円増額計上する予定でございまして。また、事務処理標準システム導入経費といたしまして921万8,000円、国民健康保険特別会計へ繰り出す予定でございまして。

次に、国民健康保険特別会計補正予算でございまして、事務処理標準システム導入経費に921万8,000円の増額と、国民健康保険事業費納付金の確定によりまして増減がありまして、合わせまして927万2,000円減額となり、予備費を同額増額し、財源調整する予定でございまして。

続きまして、協働推進課から説明します。

資料4ページをお開きください。

一般会計補正予算でございまして、一般財団法人自治総合センターが行う宝くじコミュニティ助成事業の一般コミュニティ助成事業の助成金の決定によるもので、今回7自治会が採択されまして、県を通じまして決定の通知があったことによる補正でございまして。歳入歳出とも1,390万円を計上予定でございまして。実施地区につきましては、表に記載しておりますので御覧ください。

最後に、集落支援員試行的導入によりまして296万1,000円を計上する予定でございまして。

市民課、協働推進課からは以上でございまして。

○環境課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 大窄課長。

○環境課長（大窄暢毅君） それでは引き続き、環境課から御説明をさせていただきます。

資料の5ページをお願いいたします。

令和3年度一般会計補正予算（第3号）についてでございますが、環境課所管の補正案件につきましては2件でございます。

1件は、4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費の和気北部衛生施設組合火葬場施設に係る負担金でございまして、去る2月の組合議会で議決されました令和3年度組合会計当初予算を受けまして、同組合の管理運営に係る負担金を405万8,000円増額するものでございます。

もう1件につきましては、同款2項清掃費、2目塵芥処理費の赤磐市環境センターにおける焼却炉の耐火物などの修繕経費、合計3,572万8,000円を増額するものでございます。

環境課からは以上でございます。

○委員長（光成良充君）では、続いて、保健福祉部関連でお願いいたします。

○社会福祉課長（原田光治君）委員長。

○委員長（光成良充君）原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君）では、保健福祉部資料の1ページをお願いいたします。

2、その他の社会福祉課の関係で、6月議会定例会提出予定議案についてですけれども、歳出のみでして、3款民生費、1項社会福祉費、2目社会福祉施設費の中で施設修繕、つつじ荘、あかまつ荘の自動ドア取替え修繕、老朽化に伴うもので42万9,000円、それから熊山保健福祉センターの管理事業の関係で、エアコンのコンプレッサーの取替え修繕1基分ということで57万7,000円の計上を予定しております。

社会福祉課からは以上です。

○子育て支援課長（馬場弘祥君）委員長。

○委員長（光成良充君）馬場課長。

○子育て支援課長（馬場弘祥君）子育て支援課からも、令和3年度6月議会定例会提出予定議案について説明します。

同じく、資料1ページになります。

令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）ですけれども、歳出から説明しますが、まず事業として、4月の臨時議会で専決処分にしていただいた低所得のひとり親世帯対象の子育て世帯への臨時特別給付金に続きまして、今度は低所得の2人親を対象とする子育て世帯への生活支援特別給付金の支給給付に関わる予算を計上します。具体的には、住民税非課税世帯の子育て世帯へ児童1人当たり一律5万円を支給するものです。事業費として、給付金4,500万円、事務費はシステム保守等委託料等を含みまして110万円計上しております。

歳入におきましては、こちらは国庫補助金10分の10ですので、同額でそれぞれ子育て世帯への臨時特別給付金支給給付事業費補助金として4,500万円、それから子育て世帯への臨時特別給付金支給給付事務費補助金として110万円計上しております。

また、歳出として修繕費を計上しております。3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費のほうで修繕料28万3,000円、それから3款民生費、2項児童福祉費、4目児童福祉施設費で80万円計上しております。

以上、子育て支援課の6月議会定例会提出予定議案の説明を終わります。

○委員長（光成良充君） では、続きまして、教育委員会からお願いいたします。

○教育次長（有馬唯常君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 有馬次長。

○教育次長（有馬唯常君） 教育委員会関係の令和3年6月議会定例会提出予定議案について、それぞれ所属長のほうより御説明申し上げます。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 金島課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 教育委員会資料4ページをお願いいたします。

令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）についてでございます。

教育総務課から説明いたします。

まず、歳入について説明いたします。

①としまして、非構造部材耐震補強事業についてです。

国の補助金内示に伴い、小学校2校及び中学校2校の非構造部材耐震補強工事に関わる国の補助金、市債を計上するものでございます。なお、この事業につきましては国の補助金により事業推進しているところでございますが、国の内示額等も厳しくなっている状況でございます。

続きまして、②ICT教育支援事業でございます。

国の補助金交付決定に伴い、一般財源から財源更正を行うものでございます。

続いて、歳出ですが、先ほど歳入で説明いたしました非構造部材耐震補強事業に関わる経費を計上するものでございます。

教育総務課からは以上です。

○学校教育課長（家森康彰君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 家森課長。

○学校教育課長（家森康彰君） 続いて、学校教育課から説明をさせていただきます。

学校教育課から、1つの事業について歳入と歳出の補正をお願いするものです。県からの委託事業、地域部活動推進事業についてです。働き方改革を踏まえた部活動改革として、休日の部活動の段階的な地域移行に向けた調査研究を行うため、事業予算228万4,000円をお願いするものです。

歳入として、地域部活動推進事業委託金228万4,000円。歳出は、推進員や指導員の報酬及び旅費、また委員会運営指導者の保険費用など同額を上げるものです。

学校教育課からは以上です。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君）　続きまして、社会教育課から御説明をさせていただきます。

まず、成人式事業といたしまして、令和3年1月の中止をしました新成人者を対象としたイベント開催費用を計上するものでございます。

次に、吉井生涯学習センターの照明をLED化します施設修繕経費を計上するものでございます。

続きまして、スポーツ振興課から御説明をさせていただきます。

まず、歳入ですが、オリンピック等キャンプ誘致促進事業補助金といたしまして、直前キャンプに伴う新型コロナウイルス感染症対策に対する補助金を計上するものでございます。

次に、過疎対策事業債でございますが、吉井B&G海洋センター改修事業に係る経費を計上するものでございます。

続きまして、歳出でございますが、東京オリンピック推進事業といたしまして、直前キャンプや交流事業に関する経費を計上するものでございます。

続きまして、6ページを御覧ください。

その他体育施設管理といたしまして、吉井B&G海洋センター改修事業に係る経費を計上するものでございます。

次に、ふれあい公園維持管理事業といたしまして、昨年改修工事を行いましたふれあい公園のパンフレットを作成する経費を計上するものでございます。

続きまして、中央図書館から御説明をさせていただきます。

図書館感染対策事業といたしまして、赤坂、熊山、吉井の3館分の図書除菌機購入経費を計上するものでございます。

以上で社会教育課、スポーツ振興課、中央図書館の説明を終わります。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君）　委員長。

○委員長（光成良充君）　矢部センター長。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君）　中央学校給食センターにつきましては、債務負担行為について説明いたします。

食器洗浄機等更新事業を実施するに当たり、小中学校の夏休み期間に設置を行う必要があることから、今年度に機器を発注すると完了予定が令和4年8月となるため、令和4年度の予算を確保し執行するために債務負担行為を行うというものであります。款教育費、項保健体育費、事業につきましては中央学校給食センター食器洗浄機等更新事業であります。金額は6,956万4,000円です。

教育委員会については以上です。

○委員長（光成良充君）　その他で、6月議会定例会提出議案についての説明が終わりました。

この議案については6月議会定例会で行いますので、事前審査に係ることもございますから質問等は差し控えていただきたいと思います。

それでは、その他のその他に入りたいと思います。

執行部のほうから何かございますでしょうか。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 稲生課長。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 市民課から市役所正面玄関横に設置しております自動交付機についてお知らせします。

マイナンバーカード普及促進に伴いまして、住民票や証明書の発行が自動交付機からコンビニ交付へ切替えが全国的に進んでおります。そのため、国内メーカーも自動交付機の生産を終了し、現在使用している自動交付機の保守につきましても令和4年度で打ち切られることから、赤磐市におきましても令和4年5月末に自動交付機を廃止することを検討しております。今後は、コンビニ交付の利用普及と併せまして自動交付機廃止に向けた広報活動を考えておるところでございます。

資料がなくて申し訳ありませんが、以上でございます。

○委員長（光成良充君） ほかは。

はい。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） こちらの資料はございませんが、星ふる福祉の郷の利用状況についてでございます。

4月に旧石相保育園跡地に開所しました障害児者を対象としました施設ですけれども、順調に運営されていると伺っております。生活介護のほうで38人の契約で延べ392人の利用、児童発達、放課後等デイサービスのほうで契約6人で延べ46人の利用、ショートステイにつきましても4月は試行段階とのことでしたが、5月から本格実施するというふうにお聞きしております。また、ショートステイの利用につきましても多くの利用希望が来ているということもございます。また、障害者サービス利用のための計画策定の相談支援等は160人ほどの契約になっておまして、順調ということ伺っております。

以上、御報告でした。

○介護保険課長（寒竹邦子君） はい。

○委員長（光成良充君） 寒竹課長。

○介護保険課長（寒竹邦子君） 地域包括支援センターの委託について御報告いたします。

令和3年4月1日から地域包括支援センター業務を赤磐市社会福祉協議会へ委託できましたので、経過について御報告させていただきます。

人員体制については、社協職員5名と市派遣職員4名でスタートしています。社協職員2名が新人で包括の経験がないため、市からの出向職員が指導、助言を行いながら各事業についてこれから順次取り組み始める状況です。介護予防支援事業所の機能としては、プランナーや委託分のケアマネの変更もないため、利用者、ケアマネ、サービス事業者とも混乱なく移行できています。今後も職員のスキルアップや各事業の体制整備を早急に行い、スムーズな運営ができるよう地域支援班でサポートしていく予定です。

以上です。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 金島課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 教育委員会から1件報告させていただきます。

市立小中学校の運動会及び体育会についてでございます。資料はございません。1学期に開催予定の豊田小学校の運動会については9月に延期し、また桜が丘中学校を除く4つの中学校の体育会については、新型コロナウイルス感染症対策として昨年と同様に規模を縮小して実施する予定でございます。来賓の臨席については控えさせていただきますので、よろしく願いいたします。

教育委員会からは以上です。

○委員長（光成良充君） その他のその他について執行部から御説明がございましたが、何か御質問はございますか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 2点お尋ねしたいんですが、まず1点目、子育て支援課のほうでたしか前年度の予算で2つの学童クラブのための予算をお取りになっていた。それが順調に進んでいるかどうかをお尋ねしたい。

それからもう1つは、包括支援センターが社協に委託しているということなんですが、現場の声が大分混乱していると聞いているんですよ。それぞれの受けた役員の方たちが、おっしゃるようにそれなりの専門的な仕事をそうじゃない人が受けるわけですから、そういう意味の整理、すみ分け、そこはちょっと慎重に、特に今スタートのときですから、大分クレームは聞いています。そのことをどこまでおつかみになっていらっしゃるかちょっと確認をしたいと思えます。その2つをお願いします。

○委員長（光成良充君） 答弁を求めます。

○子育て支援課長（馬場弘祥君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 馬場課長。

○子育て支援課長（馬場弘祥君） 御質問のあった放課後児童クラブの件ですけれども、1つ、赤坂の地域で設立予定のクラブ、今の時点ですけれども、認可の関係の書類、それから補助金関係の書類を提出していただいて、今審査している状況です。4月当初に間に合わなかつ

たのは、該当のクラブのほうで運営委員会のほうが人員の変更とか、それから組織の人数、運営委員会の人当初とはまた変更になった関係で書類のほうを今こちらに出してもらって審査をしている状況です。児童のほうはもう既に昨年からも利用しておりまして、今年度も15人利用予定、実際には利用しているんですけども、そういった子供たちの利用に迷惑がかからないように、こちら事務手続等の補助をしていきたいと考えております。

子育て支援課からは以上です。

○委員（原田素代君） いや、もう1つ。

委員長。

○委員長（光成良充君） 原田委員。

○委員（原田素代君） もう1つ、桜が丘用にも予算組んでるでしょ。あれはどうなったんですか。

○子育て支援課長（馬場弘祥君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 馬場課長。

○子育て支援課長（馬場弘祥君） 桜が丘のほうにつきましては、予算策定時にお話のあった事業所のほうから運営したいということにつきまして相談を受けているんですけども、具体的には設立の方向に……、場所の選定がちょっと確定しないという面がありまして、こちらは今の段階では進展しておりません。

以上です。

○介護保険課長（寒竹邦子君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 寒竹課長。

○介護保険課長（寒竹邦子君） 包括支援センターの委託なんですが、市のほうで担当していた職員がそのまま包括のほうに出向になればよかったんですけど、担当がもう人事異動で変わってしまったり、また社協側の職員も新人の職員が担当しているため、なかなかすぐにはうまくいってなくて、市の職員が教えながらやっているような状況で、現場のボランティアさんたちにも大変迷惑をかけていると思います。十分聞いているんですけど、これから順次市のほうで指導をしていきながら、役割分担も一応決めているんですけど、まだちょっと初めなので、市のほうも大分関わってやっていこうと思っていますので、よろしく願いいたします。

○委員（原田素代君） よろしく願いします。結構です。

○委員長（光成良充君） 他にございませんか。

○副委員長（福木京子君） もう1つ。

○委員長（光成良充君） 福木委員。

○副委員長（福木京子君） 星ふる福祉の郷、簡単に説明があったんですが、コロナの関係で、私たち担当なんですが、なかなか見に行ったりそういうこともできないし、直接声も聞くことができないんですが、そういう施設ができたということはいずれ、入所者も増えてい

るということなのですが、何らかで関わって視察か何かできるような方向というのはもうコロナが相当見通しがついてからになりますかね。だから、できれば常に、新しく始まったばかりですので情報は入れていただけたらなと思いますがいかがでしょう。

○社会福祉課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（光成良充君） 原田課長。

○社会福祉課長（原田光治君） 運営が始まりましてもうちょっと落ち着くまでに時間が必要だということと、あとはこのような情勢下でもありますのでその辺の状況を踏まえながら、また視察等について調整、必要であればしていきたいと考えます。

以上です。

○委員長（光成良充君） よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） それでは、委員のほうからその他について何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（光成良充君） ないようですので、以上をもちまして厚生文教常任委員会を閉会したいと思います。

本日皆様には長時間にわたり大変お疲れさまでございました。

これで本日の委員会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

午前11時55分 閉会